

# 地方創生推進交付金対象事業の取組状況 (各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② H29交付金額  単位:円	③ 取組内容	④ 鳥取県元気づくり 総合戦略上の記載部分	⑤ 申請時のH29年度末目標値(KPI)			⑥ H29年度実績値(KPI)			⑦ 実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	⑧ 実績値を踏まえた今後の取組 (H30年度に向けて講じた改善など)			
					指標	指標値	単位	指標値	単位	年月		今後の取組	左の理由及び具体的内容		
1	梨で「儲かる」「人が集う」地域産業活性化プラン 【H28年度採択事業】	14,493,133	農研機構ナシ育種研究拠点と連携した新品種開発や品質・生産量向上のための試験研究、新甘泉など新品種の生産拡大支援、国内外への販路拡大等により、本県の特産品である梨の振興を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	指標①	果樹新品種(梨)の作付面積 (H27年度:17,000a)	3,000	a 増加	2,400 (暫定値)	a 増加	H30.3	市場評価が高い「新甘泉」の面積は順調に伸びたが、その他の新品種については、作付けが伸びなかったため。	①拡充・強化	新品種の生産量が順調に伸びていることに加え、市場からの引きあいも強く高単価を維持。スーパー園芸団地の整備やジョイント栽培の導入を進め、新規就農者にとって参入しやすい条件の整備を図る。	
					指標②	果樹新品種(梨)の販売額 (H27年度:291百万円)	169	百万円 増加	226	百万円 増加	H30.3				生産量が拡大するとともに、「なつひめ」「新甘泉」が過去最高の単価を記録したため。
					指標③	梨に係る新規参入者の人数 (梨のスーパー園芸団地に係るもの)	6	人/年	1	人/年	H30.3				スーパー園芸団地の造成実績が1団地にとどまった上、新規就農者のマッチングに時間を要したため。
2	高度人材育成開発拠点の形成を契機とした産業構造の転換促進(とっとりRe-Growthプラン) 【H28年度採択事業】	44,102,241	職業能力開発総合大学校の一部機能移転と連携した高度技能・技術人材育成プログラムの開発、県外からの高度技術人材の獲得促進、医工連携や企業の海外展開支援により産業構造の転換を図る。	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場	指標①	県内製造品出荷額 (H26年度6,804億円)	450	億円 増加	352 (推計値)	億円 増加	H30.3	県内企業の生産指数は、H25年度を底に回復基調にあるものの、製造品出荷額の増には結びついていない状況にあるため。	①拡充・強化	H30年度の職業能力開発総合大学校の調査・研究機能の一部移転を契機に、高度技能・技術の訓練・開発拠点の形成を目指し、県内企業の成長分野へのチャレンジを支援する。	
					指標②	正規雇用創出数(商工分野)	2,860	人	3,117	人	H30.3	県の各種施策活用により、非正規職員から正規職員への転換や起業・創業、成長3分野(医療機器、自動車、航空機)等への事業展開が進み、正規職員の採用による人材確保が図られたため。			
					指標③	IJUターンの受入者数 (H26年度;1,246人)	2,400	人	4,149	人	H30.3	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。			
3	鳥取県の人口減少に歯止めをかける!転出超過解消大作戦! 【H28年度採択事業】	82,238,151	移住相談体制の充実や県民総参加による情報発信の強化、地域における移住者受入組織等のネットワークづくり等によるIJU促進のほか、インターンシップ、企業紹介フェアの開催などによる若者の県内就職の促進を図る。	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住	指標①	IJUターンの受入者数 (H26年度;1,246人)	2,400	人	4,149	人	H30.3	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。	①拡充・強化	・若者の県内定住を促進するため、新たに学生による学生に向けた情報発信への取組を実施するとともに、「関係人口」の創出に向けて、とっとり暮らしを体験する取組や地域課題を解決する人材、若手社会人の呼び込みに取り組む。 ・また、従来の無償型インターンシップに加え、H30年度から長期有償型インターンシップを導入する。	
					指標②	県外大学進学者の県内就職率 (県出身者の多い大学) (H26年度:29.5%)	4.2	% 増加	(H30夏判明)	% 増加	H30.3	—			
					指標③	県内大学生の県内就職率 (H26年度:34.2%)	4.04	% 増加	(H30夏判明)	% 増加	H30.3	—			
4	～「新たな空のステージ」への挑戦～「空の駅」推進事業 【H28年度採択事業】	26,980,897	まんがキャラクターを配した空港装飾化等による魅力向上とイベント開催による交流・賑わいの創出、空港へのトライアル出店支援や2次交通整備による利便性の向上を図るとともに、空港周辺地域の観光・物産施設との連携等による地域活性化を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	指標①	空港利用客数 (鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港) (H27年度:1,014,443人)	55,557	人 増加	78,194	人 増加	H30.3	鳥取空港・米子空港とともに国内便・国際線の搭乗者数が過去最高を記録するとともに、鳥取空港と鳥取港を結ぶ県道の開通記念イベント等により、国際会館の利用者も増加しているため。	①拡充・強化	・鳥取空港一体化やコンセッション方式の導入を契機に、ツインボートとしての更なる賑わい創出を進め、空港利用者を増やしていく必要がある。 ・外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。	
					指標②	1人あたり観光消費額 (H24年～H26年平均 27,250円)	500	円 増加	(H30夏判明)	円 増加	H30.3	—			
					指標③	外国人宿泊客数 (H27年:103,430人)	23,272	人 増加	36,300人増加 (速報値)	人 増加	H30.3	好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。			
5	とっとりフードバレー(豊かな食と技術の集積地)形成プロジェクト 【H28年度採択事業】	130,501,632	ゲノム育種価等を活用した和牛改良や生乳増産技術の確立、マサバ陸上養殖技術の向上や種苗生産拡大を図るとともに、販路拡大のための地域商社活動支援やHACCP等の食品衛生認証の取得支援、農商工連携・6次産業化の取組支援による農林水産業の活性化を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	指標①	農林水産物及び加工品の年間輸出額 (H26年度:3.8億円)	2	億円 増加	(H30秋判明)	億円 増加	H30.3	—	③取組内容の見直し(改善)	・日EUEPAやTPPの動向を踏まえ、現地商談会への出展や県産食材を使ったレストランフェア等の開催を通じ、日本食材需要の取り込みを図る。 ・また養殖漁業については、本年度の経験を元に養殖手法の改善を指導するとともに、巡回指導等を行い、養殖場での飼育状況の把握と魚病対策等を行う。	
					指標②	農林水産業新規就業者数 (H27年度:330人)	700	人 増加	728	人 増加	H30.3	就業者のニーズに即した研修の充実強化や専門高校との連携した取組により、新規就業者確保に努めたため。			
					指標③	養殖サバ水揚げ量 (H27年度:1.5万尾)	13.0	万尾 増加	0.6	万尾 増加	H30.3	種苗出荷は想定どおりであったが、養殖場での病気の発生や例年に無い冬季の低水温等の問題で斃死が多く、また成長も悪かったため。			

No	① 交付対象事業の名称	② H29交付金額  単位:円	③ 取組内容	④ 鳥取県元気づくり 総合戦略上の記載部分	⑤ 申請時のH29年度末目標値(KPI)			⑥ H29年度実績値(KPI)			⑦ 実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	⑧ 実績値を踏まえた今後の取組 (H30年度に向けて講じた改善など)	
					指標	指標値	単位	指標値	単位	年月		今後の取組	左の理由及び具体的内容
6	「木づかいの国とっとり」推進プロジェクト 【H28年度採択事業】	92,859,041	高性能林業機械の導入や路網整備等の林業の低コスト化、試験研究による林産材の高付加価値化を図るとともに、オーストア技術の導入等による労働安全衛生の向上や新規就業促進、教育旅行誘致やとっとりジビエのブランド化など総合的な森林の活用促進を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	指標①	林業新規就業者数 (H27年度:97人)	233	人	168	人	H30.3	①拡充・強化	・平成29年3月に開所した「とっとり林業技術訓練センター(愛称:Gut Holz)」での研修等安全対策の強化により、林業労働災害は着実に減少しており、今後も継続して伐倒技術の習熟等を支援することで、若者が安心して働くことのできる職場環境を実現する。 ・ハンター養成スクールや若手ハンターの駆け込みコーチング事業を継続し、若手狩猟者の育成を図るとともに、ジビエ振興の取組についても充実・強化を図っていく。
指標②	若手狩猟者免許保有者数 (H26年度:155人)	58	人増加	183	人増加	H30.3							
指標③	IJUターンの受入者数 (H26年度:1,246人)	2,400	人	4,149	人	H30.3							
7	名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト 【H28年度採択事業】	71,479,926	大山開山1300年に合わせた観光客の受入環境整備や広域的な誘客キャンペーンを実施するとともに、食のブランド化を図る等、大山ブランドを活かした持続可能な地域づくりを実践する。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流 (3) エコスタイル	指標①	観光入込客数 (H27年:1,044,000人)	280,000	人増加	(H30夏判明)	人増加	H30.3	①拡充・強化	平成30年度は伯耆国「大山開山1300年祭」の本格的実施の年であり、同祭を通じて、全国への「大山」の情報発信、大山ブランドの魅力向上、新たな観光資源の創造や現在の観光資源・イベントの磨き上げを図り、より稼げる取組へ進化させていく。
指標②	外国人宿泊者数 (H27年:103,430人)	23,272	人増加	36,300人増加 (速報値)	人増加	H30.3							
8	地域課題を解決する起業・創業チャレンジプロジェクト 【H29年度採択事業】	14,239,677	地域資源や遊休資産を活用した中山間地域のコミュニティビジネスの創出や若者・女性など多様な主体による起業創業の支援、特色ある田舎文化体験の提供など観光誘客を促進することにより地域の活性化を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	指標①	県域で新規性・成長性の高い創業件数 (H26年度:7件)	10	件	5	件	H30.3	①拡充・強化	・県内での起業家を発掘し、プロによるブランの磨き上げで起業を支援する「とっとりスタートアップキャンプ」(H29～)に高校生部門を設け、次世代を担う人材育成を進めるとともに、先輩女性起業家・支援団体の起業支援活動を促進するなど、本県ならではの起業エコシステムの構築を目指す。 ・外国人宿泊客数の増加を見据え、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
指標②	創業による正規雇用者数	355	人	493	人	H30.3							
指標③	外国人宿泊者数 (H27年:103,430人)	23,272	人増加	36,300人増加 (速報値)	人増加	H30.3							
9	北東アジア経済・観光交流拠点化推進プロジェクト 【H29年度採択事業】	17,991,437	日韓露を結ぶ環日本海定期フェリーの優位性を活かし、官民連携によるセミナーや商談会等、ビジネスマッチングを展開するとともに、訪日観光客の誘客を図る。また国内RORO船航路の開設等による「境港」のハブ化を推進する。	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場	指標①	境港取扱貨物量(国際コンテナ取扱量) (H26年:23,139TEU)	4,000	TEU増加	3,358	TEU増加	H30.3	①拡充・強化	県内企業及び外務専門家から成るワーキンググループ(自動車、医療機器、食品等)における検討・情報提供、セミナーの実施等により、県内企業の海外展開を支援する。
指標②	海外展開企業数 (H27年度:64件)	6	件増加	8	件増加	H30.3							
指標③	外国人宿泊者数 (H27年:103,430人)	23,272	人増加	36,300人増加 (速報値)	人増加	H30.3							
10	プロフェッショナル人材戦略拠点事業 【H29年度採択事業】	29,329,872	プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、事業革新や新商品開発等、県内企業の経営戦略に必要なプロフェッショナル人材の獲得を支援する。	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住	指標①	プロフェッショナル人材マッチング成立件数	10	件	11	件	H30.3	①拡充・強化	県立鳥取ハローワークの開設にあわせて、プロフェッショナル人材戦略拠点を移転し、連携体制の強化を図る。
指標②	県内企業相談件数	100	件	185	件	H30.3							

**地方創生拠点整備交付金（ハード整備交付金）対象事業の取組状況  
（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）**

No	① 交付対象事業の名称	② H29交付金額 単位:円	③ 取組内容	④ 鳥取県元気づくり 総合戦略上の記載部分	⑤ 申請時のH29年度末目標値(KPI)			⑥ H29年度実績値(KPI)			⑦ 実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	⑧ 実績値を踏まえた今後の取組 (H30年度に向けて講じた改善など)			
					指標	指標値	単位	指標値	単位	年月		今後の取組	左の理由及び具体的内容		
1	鳥取砂丘コナン空港交流創出整備事業	420,697,820	鳥取空港ターミナルビルと隣接する国際会館を一体化し、増設部に飲食・物販スペースを整備するとともに、情報発信機能を強化。空港施設の集客力向上、テナント等売上げ額の増加を図るとともに、空港周辺地域の観光・物産施設との連携等による地域活性化を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	指標①	施設によるテナント料と各店舗等の売上げの合計額	0	千円	0	千円	H30.3	—	①拡充・発展	今年度中に、民間による管理運営(コンセッション方式)開始するとともに、民間への運営権移譲後においても、航空政策、観光・イベント、二次交通政策などに関して運営権者を継続的に支援し、空港の賑わい創出や利用者数拡大に取り組んでいく。	
					指標②	鳥取砂丘コナン空港利用者数 (H27年度:424,794人)	15,206	人増加	8,967	人増加	H30.3				大型イベントの効果等により航空利用者数が増加したため。
					指標③	ツインポート(鳥取港(マリンピア賀露))における消費額 (H27年度:1,787百万円)	0	千円増加	0	千円増加	H30.3				—
2	畜産試験場施設整備事業	154,778,458	畜産試験場に乳牛舎を新築し、家畜伝染病から守るためのエリア分離を図るとともに、生乳の生産管理が可能なデータ解析システムを備えた搾乳システムの導入や飼養管理に必要な施設を整備する。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	指標①	畜産試験場の生産物販売収入 (H27年度:40,296千円)	0	千円増加	168,456	千円増加	H30.3	試験場で造成された高能力の種雄牛の凍結精液販売収入が増加したため。	①拡充・発展	引き続き高能力種雄牛の造成と精液販売への取り組みを強化。試験場の研究成果を活用し、県産牛乳のブランド力、和子牛の生産技術を向上させていく。	
					指標②	乳業メーカーの生乳・乳製品販売額 (H27年度:13,399百万円)	0	百万円増加	171	百万円増加	H30.3	県内乳業メーカーの販売展開により、業績が向上したため。			
					指標③	鳥取県の和子牛販売額 (H27年度:1,124百万円)	0	百万円増加	515	百万円増加	H30.3	和子牛せり価格が上昇するとともに、子牛販売頭数が増加したため。			
3	公共育成牧場機能強化整備事業	172,099,980	畜産振興の拠点施設である鳥取放牧場に牛舎等を整備することにより、公共育成牧場の受け入れ体制の拡充を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	指標①	公共育成牧場の預託料等収入額 (H27年度:242,259千円)	0	千円増加	15,661	千円増加	H30.3	乳用牛の預託希望が増加したため。	①拡充・発展	県内酪農家の規模拡大が進んでおり、受入体制を強化した放牧場での預託が増加する見通し。乳牛への和牛受精卵移植、和子牛生産頭数の増加に取り組み、本県の畜産振興をさらに推し進めていく。	
					指標②	鳥取県の和子牛の増産効果 (H27年度:1,124百万円)	0	百万円増加	1,204	百万円増加	H30.3	和子牛せり価格が上昇するとともに、子牛販売頭数が増加したため。			
					指標③	鳥取県の生乳販売額 (H27年度:6,126百万円)	0	百万円増加	12	百万円増加	H30.3	生乳単価の向上により、販売額が増加したため。			
4	鳥取県栽培漁業センター施設増強事業	189,484,500	栽培漁業センターに生産施設等を整備することにより、マサバやキジハタ等の種苗量産体制や種苗生産技術の開発(改良)の強化を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	指標①	マサバ養殖生産金額 (H27年度:6,750千円)	24,750	千円増加	1,950	千円増加	H30.3	種苗出荷は想定どおりであったが、養殖場での病気の発生や例年に無い冬季の低水温等の問題で斃死が多く、また成長も悪かったため。	③取組内容の改善	H29年度の取組を元に養殖手法の改善を指導するとともに、巡回指導等を行い、養殖場での飼育状況の把握と魚病対策等の強化を図る。	
					指標②	マサバ養殖輸出货量 (事業開始前:ゼロ)	0	kg	0	kg	H30.3	—			
					指標③	キジハタ種苗の有償販売尾数 (事業開始前:ゼロ)	52	千尾	52	千尾	H30.3	—			
5	オープンラボ機能強化(木材・建築業界等)による実用技術の協働開発拠点化	76,793,580	木質新材料(CLT、LVL)等の性能向上・品質安定化や新製品開発支援に必要な施設を整備することにより、品質・性能の確かな製品の市場への安定供給による県産材の出荷量・販売額の拡大を目指す。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	指標①	県内で生産されるCLT(直交集成板)・LVL(単板積層材)の販売額 (H27年度:1,246百万円)	13,000	千円増加	126,000	千円増加	H30.3	LVLの販売が堅調に推移したため。	①拡充・発展	関係企業との共同研究や県の研究事業、有識者との技術交流を積極的に展開し、技術支援を進めていく。	
					指標②	林業新規就業者数 (H27年度:97人)	233	人	168	人	H30.3	業界の景気動向等により、林業における新規就業者の確保ができなかったため。			
6	スポーツクライミングの聖地化を通じた元気なまちづくり	28,553,355	県立倉吉体育文化会館に、スポーツクライミング3種目(ボルダリング、リード、スピード)の競技施設が1箇所を整った施設を整備することにより国際大会やスポーツ合宿等を誘致するほか、国内トップクラスの指導者の下、世界で活躍できるトップアスリートの育成、体力・健康づくりへの支援を通じた現役世代の健康増進、地域コミュニティの形成を図る。	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	指標①	大会・合宿等の誘致による経済波及効果 (H27年度:10,600千円)	0	千円	0	千円	H30.3	—	①拡充・発展	県内はもとより、関東や九州等、県外各地からも利用があり、オープン後1か月で延べ500人が利用。H30.5月にはユース日本選手権、H30.11月にはアジア選手権が開催されることになっており、クライミングの聖地化を通じた元気なまちづくりを推進していく。	
					指標②	施設に係る使用料収入 (事業開始前:ゼロ)	0	千円	0	千円	H30.3	—			
					指標③	クライミング体験教室参加者数 (H27年度:150人)	30	人増加	69	人増加	H30.3	H30.4月の一般利用開始に先立ち、プレオープンクライミング教室を開催したことによるもの。			